

(58頁への追加資料：「みことばを食べる」イザヤ 55:1-11)

第二イザヤ(44-55)の前半(44-48)を貫く主題は、「新しい出エジプトとして、また新しい創造としてのバビロンからの解放であり、後半(49-55)の主題は、「シオンへの慰めと回復、さらに諸国への光となるべき新しい使命」と言えよう。

1「さあ、渴いている者はだれでも、

水のある所に来るがよい。

金かねがない者も来て、穀物を買って、食べよ。

金かねなしに、代価だいかなしに、

来て、ぶどう酒と乳を買うがよい。

2なぜ、おまえたちは糧かてでないもののために金かねを払い、  
腹をみたさないもののために労苦するのか。

わたしに聞き従い、良いものを食べよ。

美味びみな食べ物に、おまえたちの魂は喜ぶだろう。」

本章は、第二イザヤの結論で、40章がそのプロローグとすれば、そのエピローグである。本章は、54章にあるエルサレムに対する主の呼びかけを続けるが、本章では民に対して行われる。

この箇所かなめの要となるみことばに中心を置く。

1-2節は、神の知恵がすべての人を満たりた命の象徴である宴会に招くことを思わせる。「水」は、ユダヤ教のラビ伝承では、神の教え、神のことばの象徴である。

3「耳を傾け、わたしのもとに来るがよい。

聞け、おまえたちの魂は生きる。

わたしは、永遠の契約をおまえたちと結ぶ。

それはダビデに対する変わらぬ慈しみの成就じょうじゅ。」

6「主を求めよ、見つけることができるうちに。

呼び掛けよ、近くにおられるうちに。

7悪者が自分の道を、不正な者が自分の思いを捨てるように。

主に立ち帰るように。

主は憐れんでくださる方。

わたしたちの神に立ち帰るように。

まことに、主は寛大に赦してくださる。

8 「まことに、わたしの思いはおまえたちの思いではなく、  
おまえたちの道はわたしの道ではない—主のことば。

9 まことに、天が地よりも高くあるように、  
わたしの道はおまえたちの道より、  
わたしの思いはおまえたちの思いよりも高い。

10 まことに、天から雨が降れば、  
地を潤し、これに生えさせ、芽をださせ、  
種蒔く者に種を、食べる者に糧をあたえずに  
天に戻ることはないように、  
わたしの口からでることばは、  
わたしが志すことを行い、  
わたしが託した使命を成し遂げずに  
空しくわたしにもどることはない。」

#### みことばをむさぼり食べる

「あなたのみことばが見出されたとき、  
わたしはそれをむさぼり食べました。  
あなたのみことばは、わたしのものとなり  
わたしは喜び躍りました (エレミヤ 15:16)。」

口を開いて、わたしが与えるものを食べなさい。

(エゼキエル 2:9-3:3)